

「高専に半導体課程、国内生産増強、担い手育成、九州で政府方針」読売新聞 2022年1月3日朝刊を読む

1. (1) 政府は半導体の国内生産能力を高めるため、高等専門学校(高専)での専門人材の育成に取り組む方針を固めた。  
(2) 2022年度中にも九州にある八つの高専を対象に、半導体の製造や開発に関する教育課程を新たに盛り込む。  
(3) 世界的な半導体不足のなか、技術の担い手を増やし、かつて世界をリードした「日の丸半導体」の復権につなげたい考えだ。
2. (1) 複数の政府関係者が明らかにした。  
(2) 九州では、半導体受託製造大手の台湾積体回路製造(TSMC)が熊本県に工場を設置することが決まっている。  
(3) 熊本をはじめ、福岡、長崎、大分、宮崎、鹿児島九州6県にある8高専を、半導体技術の専門教育を受けられる人材育成の拠点として整備し、半導体の専門人材の裾野を広げる。
3. (1) 高専は中学卒業後に原則5年間の専門教育を行う高等教育機関。  
(2) 一般科目に加えて機械や電子、化学などの専門科目があり、実験や実習を重視した教育内容が特色だ。  
(3) 「卒業生の技術力は高いが、半導体の専門教育はほぼなく半導体業界で活躍できる人材は少ない」(政府関係者)のが実情だった。
4. (1) 加わる教育内容は半導体に特化した知識や技術となる見込みだが、具体的には九州経済産業局などが半導体開発や製造に関わる企業と協議し決める。  
(2) 企業側が求める技術水準などを把握し、文部科学省や独立行政法人国立高等専門学校機構とも連携し内容を詰める。
5. (1) 日本は半導体の国内需要の6割以上を台湾や中国など海外からの輸入に依存する。  
(2) デジタル化の進展などで半導体の世界的需要は増える見通しで、安定供給や経済安全保障の観点から日本国内での製造は急務。  
(3) 政府は半導体工場の国内整備を支援する法整備を進めるなど、半導体確保に向けた取り組みを加速している。

#### <コメント>

- (1) 「日本のお家芸」「日の丸半導体」とまでかつては言われたすべての産業に用いられる半導体は、国内需要の6割以上を台湾や中国からの輸入に依存。デジタル化の進展で世界的需要が激増する中、経済安全保障の観点から日本国内での製造は急務となっている。
- (2) そこで出てきたのが、半導体産業の日本への誘致と半導体の人材育成だ。話を原点に戻し、国家戦略として、半導体の素材と技術開発、人材育成を国を挙げて行うべきと確信する。

- (3)九州の8つの高専だけでなく、全国すべての高専と、各都府県のやる気のある工業高校・大学・専門学校・専修学校・大学院に半導体コースの開設を提言したい。
- (4)幼稚園生・小学生・中学生・高校生には、「レゴ(LEGO)」「ミニ四駆」「ハンダ付け電気工作(ライントレースカー、ラズベリーパイ、ロボット製作)」を大いに奨励、半導体コースに進む人材育成に励みたい。

2022年1月12日 林明夫記